

大手町土地区画整理事業における大手町川端緑道が「平成 26 年度全建賞」を受賞

6月26日(金)、アルカディア市ヶ谷において、「平成 26 年度全建賞」の表彰式が開催され、大手町土地区画整理事業により整備した大手町川端緑道が表彰されました。

この賞は、一般社団法人全日本建設技術協会が設置し、「建設技術の活用」や「公共事業の進め方や運用の工夫等」により、特出した成果が得られた事業や施策に贈られるもので、昭和 28 年に創設された伝統ある賞です。平成 26 年度全建賞は、全国より 329 事業の応募があり、筑波大学大学院システム情報工学研究科教授の石田東生教授を委員長とする同賞審査委員会で審査され、77 事業の受賞が決定しました。

緑道の整備により、かつてはビルの『裏空間』であった日本橋川沿いに、都心部では貴重なアメニティ空間となる日本橋川沿いの『表空間』が生み出され、官民が連携して企画・整備・維持管理を実施しています。あわせて、親水空間を取り巻く『環境』をキーワードに整備した緑道の照明設備は、一般社団法人照明学会による『平成 26 年照明普及賞』も受賞しています。

開通して 1 年、同地区のにぎわい形成がますます期待されます。



表空間となった日本橋川沿いのアメニティ空間



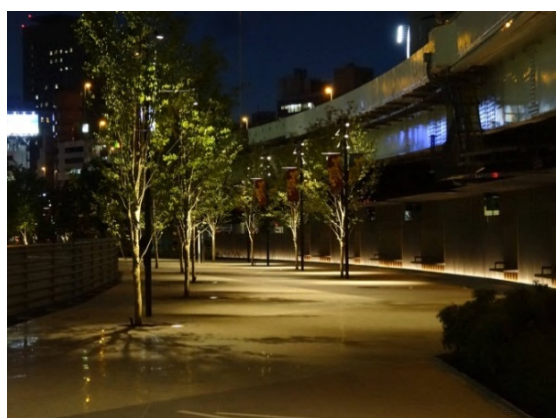
気象庁の旧観測木を現況保存



緑道と民有地とが一体的に整備された空間



全建賞 表彰状と盾



照明普及賞を受賞した景観照明 (撮影: 若井達弥光景デザイン)



照明普及賞 表彰状と記念プレート